**京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会　議事要旨**

1. 開催日時　平成23年７月19日（火曜日）午後２時から午後４時まで
2. 場所 京都平安ホテル　白河の間
3. 出席者

【部会委員】 郡嶌部会長、植田委員、小田委員、栗田委員、酒井委員、寺島委員、長畑委員、星川委員、松井委員、山口委員、山田委員

（計11名）

※上記のうち、次の委員は代理出席

小田委員（代理:山下事務局次長）

　　　 　　　　　星川委員（代理：長谷川京都市環境局循環型社会推進部長）

【事務局】 伊藤環境技術専門監、越智循環型社会推進課長、佐藤参事、

その他関係職員

【傍聴者】 １名

1. 議　題
2. 報告事項
3. 前回部会の報告
4. 第1回府民交流会の報告
5. 審議事項

　　① 次期計画の主要な論点

（３）その他

1. 議事概要＜主な意見＞
2. 報告事項
3. 前回部会の報告

前回部会の報告と併せて、京都市から「京都市バイオマス活用推進計画」(平成23年3月策定)の説明があった。

1. 第1回府民交流会の報告

7月12日(火)に南丹広域振興局で開催した第1回府民交流会の報告を行った。

1. 審議事項
2. 次期計画の主要な論点

京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター事業及び市町村等との連携・支援の観点から、次期計画の主要な論点の説明を行った。

* 一般廃棄物、産業廃棄物の区分の別なく、また、エネルギー、廃棄物、環境政策を統合して将来的には廃棄物行政を捉えるべきである。
* 市町村等のニーズの把握に努めるべきである。
* センター事業では、ワンストップサービスとしたことは評価できる。今後は、中小企業も含めた排出事業者全体のCSRの確保がセンターの役割である。
* 既存の循環型社会形成計画で、府民に対しての働きかけをどのように行ってきたのか把握する必要がある。
* 行政と市民団体との棲み分けについても議論すべきである。